

第3回中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル議事概要

日時：令和元年11月13日（水）13：30～16：00

場所：総務省中国総合通信局2階第1会議室

出席者：23名

(1) テーブル（18名）

- ・テーマ1リーダー 広島大学 大学院国際協力研究科 力石准教授
- ・テーマ2リーダー 岡山県立大学 情報工学部 情報システム工学科 菊井教授
- ・国土地理院中国地方測量部 富田次長
- ・中国地方整備局河川部水災害予報センター 伊藤センター長
- ・中国地方整備局道路部道路計画課 桐谷専門官
- ・中国運輸局交通政策部交通企画課 太刀掛計画調整官
- ・(一社) データクレイドル 大島理事
- ・(一社) 中国経済連合会 清地常務理事
- ・鳥取県総務部情報政策課 谷口主事
- ・島根県地域振興部情報政策課 広瀬主任主事
- ・西日本電信電話（株）中国事業本部 企画部 山内経営企画担当課長
- ・中国総合通信局 福田情報通信部長、中野情報通信振興課長（司会）
- ・山口県総合企画部情報企画課 山本主査
- ・広島市企画総務局行政経営部情報政策課 竹本課長
- ・岡山県県民生活部情報政策課 中野総括副参事
- ・岡山市総務局総務部 ICT推進課 大内主事

事務局：5名

- ・(一社) 中国経済連合会 瀧口部長、菅原調査役
- ・中国総合通信局情報通信部情報通信振興課 湯浅、山岡、中垣

【議事次第】

1. 開会

2. 議題

● テーマ1

(1) 作業報告（資料説明）

- ・関係機関とデータの扱いについて

(2) 議論

● テーマ2

(1) 作業報告 (資料説明)

- ・ 「2019年度中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」活動結果報告について
- ・ 自治体ヒアリング結果まとめ報告
- ・ 自治体アンケート結果まとめ報告

(2) 議論

3. 今後のスケジュールの確認

4. 閉会

【議事内容】

○テーマ1「防災（公共交通）」、テーマ2「防災（水害）」の活動結果報告をもとにオープン化、まとめについて議論

【意見交換（概要）】

○テーマ1「防災（公共交通）」

- ・ オープンデータに関するところでは、関係者間のデータ共有は確立済み。
- ・ オープン化の可否については、出せるデータ、出せないデータがある。
- ・ オープンデータとして速やかに公表するよう検討していきたいと考えるが、今のところオープンデータ化できていない。
- ・ 今後、他の広域展開の必要性は認識している。
- ・ 広域連携については、データ保管をどこに作るかではなく、データ利用が可能となる仕組みを作ることが必要。
- ・ 広域連携については、共通のインターフェースがあれば一カ所にデータがあるように見える。

○テーマ2「防災（水害）」

- ・ 10月に整備局、運輸強へのヒアリング実施結果、MM検討会での検討が進んでいるので、情報共有のみとして進めたいことの提案があり、合意。
- ・ 成果物として推奨テンプレート、自治体ヒアリング結果、アンケート結果等のまとめ報告。
- ・ マチケアの活用状況については、市外からのボランティア等、土地勘のない人が情報得るために緯度経度は必要との意見。
- ・ 平常時から使ってもらうのを準備して、使い慣れてほしい。
- ・ データを入れるのが大変。オープンデータ化していればすぐに立ち上がる。

- ・逃げる通路は時間や地域により違う。いろんなパターンを考えていることが必要。道路高低差がないと、分らないことが多い。高低データが必要。
- ・HP公開データもそのままではライセンス上、使えないと、HP上で取り組みしてるところもある。外部にカタログデータ構築もある。
- ・国はCCに準じているが、ほとんどの自治体は未対応の状況。
- ・オープンデータ化には、シビックテックが様々な方が持ちおるので、安くなる場所がある。出す側、作る側の同意でいい物をつくることが重要。
- ・CCがつくだけと思う。それによって大問題が発生すること無いと思う。
- ・ハザードマップの作成責任者がそれぞれだが。責任の所在がどこかを整理してwebで公開はしているが、ニーズからいうと 誰が監理していてもよく、地域の情報を重ねるには、5県2市の管理情報を書いている。明記したい。
- ・使っているのは、県、責任は国。 浸水深、1級河川は国が作る。県は利用するだけ。作るのは、国。
  - ・出しているのは、県。使っているよ と言えばそれで、よい。

#### 【次回会合までの作業】

- 第4回ラウンドテーブルを12/19（木）に開催し、最終の活動結果、まとめを議論。意見を整理し、来年中国情報通信懇談会の顧問等会議後に、提案する。